



1/21

仁尾町体育センターで、第1回三豊市長杯バウンドテニス大会が開催され、男女計5部門で熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。(敬称略)

男子1部	優勝	綾 慎司・中山 大士
	準優勝	辻 増雄・田中 智大
男子2部	優勝	小林 健二・松岡 茂利
	準優勝	眞鍋 忠博・眞鍋 芳和
女子1部	優勝	齋賀キヨ子・藤田 礼子
	準優勝	荒石二三子・塩田 洋子
女子2部	優勝	中谷 朋子・洲崎智恵美
	準優勝	綾 秀美・前川 邦代
女子初級	優勝	白石亜紀子・大西みな子
	準優勝	尾崎ミツエ・高橋美貴子



1/23

豊中町岡本の県道で桑山小学校2年生と交通安全協会や地域の皆さんが、セーフティリレーキャンペーンを行いました。「地域の安全、みんなでプロ

ック、プロックリー」をスローガンに、豊中町の特産品のプロックリーとチラシをドライバーに配り、安全運転を呼びかけました。

高瀬町公民館で、「ツタカズラを使ったかご作り」講座が開催されました。ふじやあけびのつるを材料にして作ったかごは、つるの種類や太さ、色がそれぞれ違い、個性的なオリジナルの作品がたくさん出来上がりました。



1/27



1/20

マリウウェブで介護予防講演会が開催され、約550人の参加がありました。市立西香川病院で介護コンサルタントとして活躍中のレナ・ホーレンナー看護博士(デンマーク)が「三豊市における高齢者介護」と題し講演を行いました。「幸せな人生」をキーワードに福祉先進国におけるケアの基本方針を紹介し、人は誰も幸せな人生を生きる権利がある。高齢になって体に不自由が生じても、その不自由さをカバーしながら、自分らしい自立した人生を生きることが大切、自己尊厳の保持が重要と語りました。また認知症になった場合も、発見が早ければ適切な対応が可能、より自立した人生が送れると、早期発見の重要性を訴えました。

みとよHOT ほっとNEWS

山本町の神田地区を中心に建設中の香川用水調整池で、工事関係者や地元関係者が集まり定礎式が行われました。神事の後に行われた式典では、池底となる工事現場に礎石を埋め、調整池の安泰と無事故を祈願しました。湯水時や緊急時に水を安定供給できる調整池は、平成20年度完成の予定です。

1/24



笠田高校の学校開放講座の一環で、郷土料理教室が行われました。今回の料理教室は、三豊郡漁業組合連合会との共催で、地元で獲れた魚を使って鯛めしやいわしのつみれ、貝柱のくん製、アジのたたきなどを作りました。参加者は、新鮮な魚をたっぷり使い、おいしそうに盛り付けした料理に舌鼓を打っていました。

1/27





2 / 4

山本町の神田小学校体育館で、第12回神田芸能祭が開催されました。神田幼稚園・小学校の学習発表会に始まり、地域の皆さんの歌や劇、ダンスなど、見どころいっぱい催し物が続きました。出演者の皆さんは日ごろの練習の成果を発揮し、会場には割れんばかりの拍手が鳴り響きました。

三野町の下高瀬小学校で校舎改築工事の起工式が行われました。市や学校、地元自治会、工事関係者など大勢の大人たちに混じって児童会の代表6人の児童も出席し、少し緊張した面持ちで工事の安全を祈りました。新校舎は平成20年1月末完成の予定です。

2 / 2



暖冬が続く中、この冬一番の寒気が流れ込み、財田町では雪が積もりました。昼過ぎから降り積もった雪は山間部では約5cm。翌朝には幻想的な世界が広がりました。

2 / 1



1 / 31

豊中町給食センターでは、笠田高校の生産経済科と園芸科の生徒が栽培した米やほうれん草、キャベツなどを使って、ひじきごはんやおひたしなどの給食を作りました。当日は、笠田高生が近くの笠田小学校を訪問し、児童と一緒に給食を食べ交流を深めました。



2 / 8

高瀬町農村環境改善センターで、平成18年度三豊市民生委員児童委員研修会が行われました。「民生委員・児童委員活動と基本的人権の尊重」と題した基調講演の後、参加した市内の委員約160人は、テーマごとに分かれて研修を行いました。委員の皆さんは、児童虐待の防止や災害時における委員の活動などについて、熱心に研修に取り組んでいました。



2 / 9

詫間町の大浜小学校6年生が、半年間育てて収穫した小麦「さぬきの夢2000」を使い、自分たちで打ったうどんを、地域の方に振る舞いました。校区内の高齢者や、これまでお世話になった皆さんを招いた感謝の会で、歌や合奏なども披露し、ふれあいを一層深めました。参加した皆さんは「おいしかった。楽しかった」と満面の笑みを浮かべていました。